作物の種類	さとうきび	440	1次必須項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	葉耳形態	区	観察		緩下降	直下降	上昇下降	三角	鋸歯	鉤	蹴爪	槍	鎌	種苗特性分類調査報告書の第６図参照
2	葉舌の形態	区	観察		三角		帯		三日月		弓			種苗特性分類調査報告書の第７図を参照 NCo310及びNiF8を5とする
3	芽子形態	区	観察		卵円	長三角	短三角	偏菱	五角	広翼卵円	円型	芽翼卵	２次翼卵	種苗特性分類調査報告書の第１０図参照
4	分げつ数	区	測定	数／平方m（小数第2位を四捨五入）										最高分げつ期に測定
5	草型	区	観察		下垂葉		水平葉		中葉		立葉		直立葉	生育最盛期に梢頭部葉身の姿勢を観察 NCo310を5，NiF8を７とする，種苗特性分類調査報告書の審査基準を参照
6	出穂性	区	観察		極難	より難	難	やや難	中	やや易	易	より易	極易	収穫期の出穂茎の多少を観察 NCo310,NiF8を7とする
7	原料茎の直立性	区	観察				湾曲	やや湾曲	中	やや直立	直立			収穫期に観察，NCo310を5，NiF8を7とする
8	蔗茎形態	区	観察		円筒	樽	糸巻	円錐	逆円錐	湾曲				成熟期に種苗特性分類調査報告書の第９図を参照して分級する
9	茎色（基本色）	区	観察		白	クリーム	黄	黄緑	緑	黄褐	褐	紅	紫	収穫期に脱葉茎の葉鞘被覆部の色を記録 NCo310,NiF8を4とする，種苗特性分類調査報告書の第１表参照
10	茎長	10茎	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										成熟期に健全茎を上位展開葉から+5葉で除梢して調査
11	茎径	10茎	測定	mm（小数第1位を四捨五入）										成熟期に健全茎を除梢，脱葉し，中央節間の中央部短径を測定

作物の種類	さとうきび	440	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	発芽率	区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										(発芽数/植付芽数)×100，発芽揃期
2	萌芽率	区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										(萌芽数/前作の収穫株数)×100，第1回施肥時
3	初期伸長性	区	観察		極劣	より劣	劣	やや劣	中	やや良	良	より良	極良	仮茎長，草丈の測定，或いは観察により判定 NCo310を5,NiF8を7とする
4	葉身長	10枚	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										展開最上位葉から2，3枚目の葉身長を測定
5	葉身幅	10枚	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										展開最上位葉から2，3枚目の葉身最大幅を測定
6	葉色	区	観察				淡	やや淡	中	やや濃	濃			緑色を対象,NCo310を5とする
7	葉身花青素	区	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	生育初期に花青素（アントシアン）の紫色色度を対象 NCo310を0,NiF8を3とする
8	葉身毛群	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310を0とする
9	脱葉性	区	観察		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	NiF8を3，NCo310を7とする
10	葉耳着生位置	区	観察				上	やや上	中	やや下	下			種苗特性分類調査報告書の第６図を参照 上,中,下位に分類，NiF8は3とする
11	葉鞘長	10枚	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										展開最上位葉から6葉位の葉鞘長を測定
12	葉鞘色彩（花青素）	区	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	生育初期に花青素（アントシアン）の紫色色度を対象 NCo310を0，NiF8を3とする
13	葉鞘ロウ質物	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	成熟期に観察 NCo310を5,NiF8を7とする
14	葉鞘毛群	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310及びNiF3を0，NiF8を1とする,成熟期に観察
15	蔗茎ロウ質物	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	NCo310を5,NiF8を7とする,成熟期

作物の種類	さとうきび	440	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
16	蔗茎肥厚帯形態	区	観察		三角	下降三角	角三角	上昇三角	広四角	長四角	上昇小舌	三日月	広三日月	種苗特性分類調査報告書の第5図参照 NCo310及びNiF8を2とする,生育中期
17	蔗茎海綿化程度	10茎	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	成熟期に健全茎を除梢，脱葉して，中央節間の中央部を切断 NCo310及びNiF8を0とする
18	蔗茎髄孔程度	10茎	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	成熟期に健全茎を除梢，脱葉して，中央節間の中央部を切断 NCo310,NiF8を3とする
19	芽子着生位置	区	観察				低	やや低	中	やや高	高			根帯上部線に対する芽子先端の上下の程度 NCo310,NiF8を6とする
20	芽子の突出度	5茎	観察			やや凹	水平	やや水平	中	やや凸	凸	より凸	極凸	NCo310を6，NiF8を8とする
21	根帯の幅	区	観察		極狭	より狭	狭	やや狭	中	やや広	広	より広	極広	NiF8を4，NCo310を5とする
22	芽翼の発達程度	5茎	観察		極狭	より狭	狭	やや狭	中	やや広	広	より広	極広	NiF8を5，NCo310を6とする，成熟期
23	気根発生節数	5茎	測定	節数/茎（小数第2位を四捨五入）										気根発生節数を地際部より調査
24	出穂早晩性	区	測定	年 月 日										出穂日を調査

作物の種類	さとうきび	440	２次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	モザイク病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する ５～８月，NCo310は3，NiF8を7とする
2	黒穂病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する 人工接種とほ場感染度により総合判定,10～12月,NCo310は1,NiF8は7とする
3	梢頭腐敗病抵抗性	区	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病株率=(発病株数/調査株数)×100により分級する ７～９月
4	葉焼病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,10～12月 NCo310を5,NiF8を7とする
5	葉片赤斑病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,6～10月 NCo310を3,NiF8を7とする
6	さび病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,7～11月 NCo310を7とする
7	黄さび病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,7～11月 NCo310を3,NiF8を7とする
8	風折損茎率	区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										(折損茎数/調査茎数)×100により算出,台風直後
9	耐旱性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	旱ばつによる生育阻害，枯死葉の発生程度を観察 旱ばつ時期 NCo310を7とする

作物の種類	さとうきび	440	２次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	白条病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	区全体の葉身を観察して分級,5～7月 NCo310を7とする
2	メイ虫食入率	区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										(食入茎数/調査茎数)×100,6月
3	倒伏度	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	極多	甚	0:90%以上直立，3:25%倒伏，5:50%倒伏，7:75%倒伏， 9:全面倒伏 収穫期前
4	耐霜性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			弱:全葉，生長点とも枯死，やや弱:梢頭部のみ生存 中:葉身の半数枯死，やや強:葉身に赤褐色条斑 強:被害は殆ど見られない，降霜１週間後に観察
5	亀裂節間率	10茎	測定	%（小数第2位を四捨五入）										成熟期に健全茎を除梢，脱葉し，全節間数，亀裂節間数を測定し，亀裂節間率＝（亀裂節間数/全節間数）×100を算出
6	わい化病抵抗性	区	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種により判定．Ni9は3,NiF8は7とする

作物の種類	さとうきび	440	3次必須項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	蔗茎収量	区	測定	kg/a（小数第2位を四捨五入）										原料茎として調整後秤量
2	蔗汁ブリックス	10茎	測定	%（小数第2位を四捨五入）										搾汁をブリックス計で測定,成熟期
3	蔗汁糖度	10茎	測定	%（小数第2位を四捨五入）										搾汁をホーン法で測定,成熟期
4	蔗汁純糖率	10茎	算出	%（小数第2位を四捨五入）										(糖度/ブリックス)×100,成熟期
5	繊維分	10茎	測定	%（小数第2位を四捨五入）										(バカス繊維重×総バカス重)/(試料バカス重×原料茎重)×100
6	登熟早晩性	区	測定		極早	より早	早	やや早	中	やや晩	晩	より晩	極晩	搾汁のブリックスあるいは糖度を収穫期前（11月）から終期（5月）まで隔月調査 NiF8を3，NCo310を6とする
7	収量構成型	区	観察		茎数型		やや茎数型		中間型		やや茎重型		茎重型	成熟期の茎の太さ，茎数を観察して判定 NCo310を3とする

作物の種類	さとうきび	440	3次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	地域適応性	区	その他				狭	やや狭	中	やや広	広			収量，ブリックスによる地域間差 NCo310を7とする